

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	すぽーとぶらす		
○保護者評価実施期間	2025年 12月 10日 ～ 2025年 12月 30日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	23 (回答者数)	13
○従業者評価実施期間	2025年 12月 10日 ～ 2025年 12月 30日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6 (回答者数)	6
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 1月 20日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	屋外活動を中心とした多様な運動プログラムが充実している。	活動前後のオリエンテーションと振り返りを大切にしている。	屋外活動の狙いや効果を明確にして支援計画の作成。
2	年齢や特性に応じた段階的な支援が出来ている。	安全面に配慮しながら主体性を引き出す関わりを行っている。	地域との連携をさらに広げる取り組み。
3	地域や一般に型と関わる機会が多い。	地域との関わりを学びの場として意識している。	職員間での情報共有と支援の質の向上。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	忘れ物が発生する事がある。	屋外活動が多く、準備物・持ち物が多岐にわたる事。	忘れ物防止のための仕組みづくり。
2	連絡事項が十分に共有出来ない事がある。	共有方法が統一されていない。	連絡事項の伝達方法の見直し。
3	活動後の確認作業が徹底出来ない場合がある。	指導員の確認方法が統一されていない。	担当や荷物の情報について共有が行われるような確認と仕組み作り。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	すばーとぶらす
------	---------

公表日 2026年 1月 30日

利用児童数 23

回収数 13

		チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	12			1	イベント等で利用者への付添いが足りないと思う、発語が無い利用者に対しての適切な配慮が欲しい。	利用者に応じた配慮が保てるように指導員の配置が出来る様努めます。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	4	5	1	4		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	8	1		4		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	6	3		4		
適切な 支援の 提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	11	2				
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	10	1		2		
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	10	3				
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	10	3				
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	10	3				
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	10	2		1		
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	7	2		4		
保護者 への 説明等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	11	2				
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	12			1		
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	5	3	2	3		
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていますか。	7	4	1	1		
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	8	5				
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	8	3		2		
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	2	5	2	4		
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	6	3	1	3		
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	6	4		3		
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	7	3		3	通信はたまにあるが行事予定は早めに知りたい。	SNS等の活用で事前に連絡出来る様努めます。

	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	8	3		2		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	2	4	1	6	聞いていない	マニュアルの存在や訓練の実施状況を周知・説明をしています。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	3	4	1	6	聞いていない	集団行動・運動療育の一環として定期的に行っている旨を伝えていきます。
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	2	3		8		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	2	5	2	4		
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	11	1		1		
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	10	2		1		
	29	事業所の支援に満足していますか。	9	3		1	忘れ物や衣服の紛失、他児の荷物混入があり注意して欲しい。 送迎の際、相性の良くない利用者は離す等の配慮をして欲しい。	忘れ物や混入防止のための仕組みづくりを行っています。 配車や座席位置を考慮し対応していきます。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日 2026年 1月 30日				
すばーとぱらす						
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		運動療育や学習などスペースを分けて支援を行っています。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	○		個別に対応できるようスタッフの人数を考えた上で配置できるようにしています。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		事業所内にエリア掲示をしています。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		運動療育を十分に行える場所を確保し、支援を行っています。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		安全や社会的距離に配慮して、	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	○		スタッフミーティング等で、適時意見交換を行っています。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。		○	送迎時に保護者の方と情報交換も行っています。	ミーティングにて業務改善に繋がる様努めます。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。		○	スタッフミーティング等で、適時意見交換を行っています。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○			
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	○		保護者への聞き取り又相談支援専門員との連携を図り、その都度あったニーズや課題を分析した上で計画を作成しています。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		職員含め支援ミーティングを行い、意見を出し合い支援内容を作成しています。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		打ち合わせの時間を設け、活動、支援の流れ、役割分担について共有を行っています。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。		○	サービス提供時間中にその場面で対応しています。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。		○		支援内容をより具体化できるよう努めます。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		職員や外部からの助言をもとにプログラムを立案しています。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		前回と同じ内容にならない様、活動プログラムを固定化しない工夫をしています。	

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○		状況に応じて活動場所を変更するなどして工夫しています。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		打ち合わせ時間を設け、前日の様子の申し送りや活動、支援の流れ、役割分担について確認を行っています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。		○	緊急でない時は、翌日のミーティングにて報告、共有しています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		一人一人の記録を記入しています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		関係機関、関係者の参加のもとで行っています。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	○		屋外での多様な遊びや体験活動、地域のイベント参加を取り入れながら支援を行なっています。	こどもが主体的に参画できる企画を取り入れることに努めます。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○		活動中に内容選択を声掛けし、自己決定の機会を適時設けて支援を行なっています。	選択肢がより分かりやすくなる様に努めます。
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		可能な限り参加しています。	参加する職員へ状況が共有できる様努めます。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		研修会を行い、助言を頂いています。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○		保護者の皆様から情報を共有頂いています。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。		○		支援内容の共有に努めます。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	○		就労移行会議の際、相談員さんへそれまでの支援内容等の情報を提供しています。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。		○		
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。		○	地元地域の行事へ可能な限り参加しています。	交流の機会がまだ少なく、イベント等で企画していきます。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。		○		
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		SNSを活用した状況の連絡や、送迎時に保護者の方と情報交換を行っています。	
保護者への	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。		○		
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。		○		
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○			
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○			
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○			
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。	○			

説明等	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○			
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		月1回のペースですばーと通信の発行や、イベント等のご案内を保護者の皆様へ発信しています。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		利用児・利用者の家族に関する個人情報が含まれる記録物についての情報漏洩の無い様、細心の注意を払い管理しています。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		個別にも対応し、必要な配慮が行き届くよう努めています。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○			
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。		○	各マニュアルを作成しています。	事業所内でマニュアルを貼り出したり、保護者に通知でお知らせをする等努めます。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		地域の指定場所への避難訓練を行い、安全意識の向上に努めています。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		保護者の皆様へ確認しています。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		アレルギーの有無、種類を保護者の皆様へ確認した上で支援を行っています。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		事業所内で安全管理指針を策定しています。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。		○	避難訓練を行い、安全意識の向上に努めています。	周知が不十分で、改善に努めます。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		発生した事案を迅速に事業所内で共有しています。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		研修を社内です定期的にを行い、従業員間で周知していきます。	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○		身体拘束は行っていません。 (身体拘束が必要な利用者がいない為)	